

# 米国の高校生 日本文化体験

佐世保南高で交流

【佐世保】米国カリフォルニア州のビスタマリエタ高の生徒ら九人が十六日まで佐世保市を訪れ、日宇町の県立佐世保南高（藤原善行校長、八百二十二名）で生徒の宿泊研修や部活動を参観するなどして交流した。

特色ある教育活動の環境で南高の文理混合コースの現二年生約二十人が今春に短期留学した際、ビ高などを訪れたのがきっかけ。「伝統文化を残している日本と新しい感覚を創造する日本」を体験、学ぶことなどを目的に、十一日から五泊六日の日程で佐世保に滞在。

交流を深めた米国と県立佐世保南高の生徒ら  
|| 同校



南高の生徒宅などにホームステイした。

滞在中、ビ高生は書道体験で日本文化に触れたほか、県立佐世保青少年の天地で実施された一年生の宿泊研修を参観。部活動なども見学し、バレー部の練習に参加して交

流を深めたビ高生もいた。弓張岳や平戸城、長崎市の平和公園なども訪れた。ビ高生を自宅に受け入れた南高二年の丹生健人君（一六）は「言葉が通じないこともあったが、相手に伝えようという気持ちがあれば伝わる」と話した。